

2 県内図書館への貢献

・ 定量評価 (5=100%以上 4=90～100% 3=80～90% 2=70～80% 1=70%未満)

・ 総合評価 (A＝成果を上げている (4.5以上)、B＝順調に進んでいる (3.5以上4.5未満)、C＝概ね順調に進んでいる (2.5以上3.5未満)、D＝順調に進んでいるとはいえない (1.5以上2.5未満)、E＝事業の見直しが必要 (1.5未満))

	項目名	取組概要	指標・目標値	目標達成のための主な取組（実施状況）	計	達成率・評価	自己評価	総合評価	協議会意見
県内図書館等が実施するサービスへの支援	県内図書館等への協力貸出の充実	・ 県民へのPR ・ 市町村等のニーズ調査と貸出体制の見直し ・ 小規模図書館等へのセット図書の見直し及び貸出 ・ 展示用コレクションの貸出	協力貸出冊数 【17,000冊】	従来の制度での協力貸出に加え、市町村立図書館等へのテーマ別図書セット貸出サービスを行った。 電子書籍サービスの体験会では、基本的な図書館サービスを説明する場面も多いことから、県民に対して相互貸借についても積極的にPRを行った。	12,538冊	達成率74% 評価（2） 70～80%	活用例の提示等によってテーマ別図書セット貸出サービスの利用増につながったり、電子書籍サービスの体験会にて無料で県立図書館の資料が取り寄せできることのPRを行い利用増につながった部分もあったが、小規模図書館等向けのセット図書の鮮度が落ちており、利用が伸びなかった。	D	「県内図書館等への協力貸出の充実」がD評価であり未達成であったが、自己評価にもあるように、セット貸の図書を最新の図書に入れ替えるなどの方策も必要だと考える。そのためには資料費の予算確保が前提となるため、資料費増額の要望を引き続き行っていく必要がある。 セット貸は利用していない図書館も多いと思われるので、例えば実際に利用した図書館の事例紹介をするなどPR策も今後は必要になっていくと考える。 協力貸出冊数については絶対数が少ないと思われるので、なぜ少ないのかを検討し疎外原因の解消に努められたい。 D評価となっている項目（協力貸し出しなど）は、理由がわかっているようなので、改善に努めてほしい。
	県内図書館等への訪問の充実	・ 市町村図書館等への訪問相談 ・ 高等学校への訪問相談 ・ 相談・打合せなど、様々な機会を捉えて訪問の実施	訪問等回数 （研修以外） 【20回以上】	訪問により、以下の相談等を行った。 ＜市町村実績＞ ①5月 長岡市立中央図書館（オンライン相談）図書館システム ②6月 新発田市立中央図書館（訪問相談）子ども読書計画等 ③7月刈羽村立図書館（訪問相談）YAサービス等 ④9月 聖籠町立図書館（訪問相談）選書等 ⑤1月 魚沼市立図書館（オンライン相談）新館計画 ⑥2月 田上町地域学習センター（訪問相談）イベント企画等 ⑦2月 新発田市立図書館読み聞かせボランティア研修会（講師派遣） ⑧3月 弥彦村図書館（訪問相談）業務分担等 ＜高等学校＞ ①11月 阿賀黎明高校図書館（訪問相談）蔵書点検等 ②11月 東新潟地区司書連絡会（訪問相談）郷土資料等 ③12月 長岡農業高校図書館（訪問相談）蔵書管理等 ＜その他＞ ①7月 新潟市立・新潟大学・県立図書館相互協力担当者会議 ②10月 新潟県学校図書館研究大会十日町中魚沼大会（指導者派遣） ③11月 新潟県視覚障害者情報センター事業推進懇談会	14回	達成率70% 評価（2） 70～80%	市町村図書館等からの訪問要望が例年より少なかったこともあり、目標回数を下回る結果となった。 次年度以降は更にオンラインの活用を進めて、各館が相談しやすい環境を整えようとするとともに、引き続き各館の状況に合わせた支援を行い、県内図書館サービスの向上を図っていきたい。	D	「県内図書館等への訪問の充実」は未達であるが先方の依頼によるところも大きく必ずしも県立図書館主導で行えるものではないので、仕方ないといえる。例えば、依頼がなくとも年間を通じて県内市町村の図書館を定期訪問巡回するなどのブッシュ型のサービスなども検討していただきたい。 D評価となっている項目は、理由がわかっているようなので、改善に努めてほしい。（再掲） オンライン利用等、新しい技術を駆使して頑張ってください。
	県立高等学校図書館への支援	・ 高等学校への訪問相談 ・ 協力貸出の推進 ・ 連携事業の実施	高等学校協力貸出冊数 【200冊】	県立学校が当館ホームページ上で操作して、直接資料を予約できるように、システム変更を行った。 サービス運用についても、貸出期間の見直しやサービス対象の拡大等の改定を行って、利便性の向上を図った。	489冊	達成率245% 評価（5） 100%以上	県立学校向けの広報・物流システムの改善により利用は伸びている。 今後もPRに努め貸出実績を伸ばしていきたい。	A	県立高校への支援もシステム更新や物流体制の整備などの努力によりA評価となっており図書館職員の方々の努力が成果となっていると言えよう。セット貸の充実などさらなる展開を期待したい。

	項目名	取組概要	指標・目標値	目標達成のための主な取組（実施状況）	計	達成率・評価	自己評価	総合評価	協議会意見
県内図書館等職員の人材育成	各種研修会等の実施	・階層別研修等の実施 ・オンライン研修 ・訪問研修の実施 ・訪問研修メニューの改善 ・参考となる図書の紹介・貸出	研修会等参加人数（訪問研修以外） 【200人】	視覚障害者サービス研修や総合部門研究集会は、より多くの参加が得られるようオンラインを活用して実施した。児童部門研究集会や中堅・専門研修は、職員講師との調整を踏まえてテーマに合った集合型で開催した。 <実績> ①公共図書館新任職員研修会（初日会場23人・オンライン24人、2日目会場25人・オンライン15人）計87人 ②第1回視覚障害者サービス研修・基礎編 45人（オンライン） ③公共図書館児童部門研究集会「読みたい気持ちにさせるブックトークの基本と実践」30人 ④公共図書館中堅職員研修「人をひきつける図書館の空間づくり」34人 ⑤公共図書館総合部門研究集会「図書館とまちづくり」47人（オンライン） ⑥第2回視覚障害者サービス研修・サビエ・読書支援機器等紹介編 39人（オンライン） ⑦第3回視覚障害者サービス研修・コミュニケーション実践編44人（オンライン） ⑧公共図書館専門職員研修会「図書館における危機管理」 32人	358人	達成率179% 評価（5） 100%以上	視覚障害者サービス研修を個別訪問型からオンラインに改めた効果もあり、目標を大きく上回った。次年度以降も、研修テーマ等を踏まえながらオンラインも活用しつつ研修内容の充実を図り、県内図書館サービスの向上につなげていきたい。	A	「各種研修会等の実施」は充実しており県内図書館の職員のレベルアップに貢献しており、非常に評価できる内容となっている。
			市町村訪問研修回数 【10回以上】	以下の研修を実施し、県内図書館の人材育成を図った。 <実績> ①資料の修理や保存の基礎（弥彦村公民館図書室） ②レファレンス研修・初級編（長岡市立中央図書館） ③資料修理や保存の基礎（五泉市立図書館） ④レファレンス研修・初級編（十日町図書館） ⑤資料修理や保存の基礎（村上市立中央図書館） ⑥レファレンス研修・初級編（弥彦村立図書館） ⑦レファレンス研修・郷土レファレンス編（長岡市立中央図書館） ⑧資料修理や保存の基礎（南魚沼市図書館） ⑨資料修理や保存の基礎（十日町図書館） ⑩レファレンス研修・郷土レファレンス編（新潟市立豊栄図書館）	10回	達成率100% 評価（5） 100%以上	当初目標を達成した。アンケートを踏まえて各研修を準備・実施したことにより、各館の参加者から好評を得た。今後も、事前・事後アンケートや意見交換等での要望等を踏まえて、より充実した内容の研修を実施できるよう取り組んでいく。	A	「各種研修会等の実施」は充実しており県内図書館の職員のレベルアップに貢献しており、非常に評価できる内容となっている。（再掲）
			訪問研修メニュー数 【5】	県視覚障害者情報センターとの連携による障害者サービス研修をオンラインで実施したため、訪問メニュー数としては減少する結果となった。一方で、新たに下半期から、地域資料に関する研修をメニューに加えた。 ・レファレンス研修（初級編） ・レファレンス研修（郷土編） ・地域資料の収集と管理の基礎 ・資料の修理や保存の基礎	4	達成率80% 評価（3） 80～90%	訪問セミナーの内容を再構築して充実を図り、郷土資料に関する研修として新しくメニューに加えることにより、市町村図書館支援の充実を図った。次年度以降は、メニュー数の増加にとらわれることなく、既存の研修内容の充実・向上を図っていきたい。	C	「各種研修会等の実施」は充実しており県内図書館の職員のレベルアップに貢献しており、非常に評価できる内容となっている。（再掲）メニュー数についても県内図書館のニーズに合う4つのメニューが提示されており未達であるが十分に評価できる内容といえる。
									県内図書館の実情が分からないので何ともいえないが基礎・初級というものが目立つ気がする。基礎や初級レベルの研修で充分なのか。（再掲）